

令和7年度 水道週間報告書

水道展(令和7年6月7日(土))

上下水道局 総務課

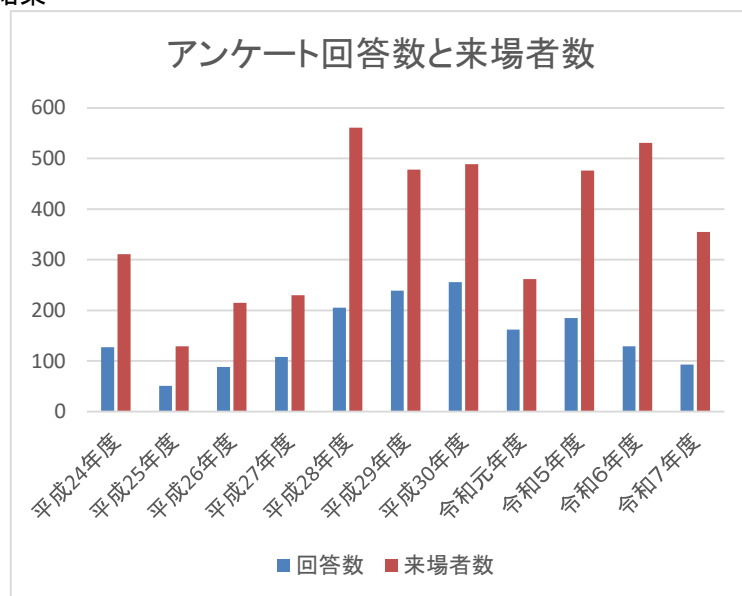
水道週間2025行事 基礎データ

●水道展

- 会場：シーモール2階セントラルコート
- 日時：令和7年6月7日(土) 午前10時～午後5時
- 内容：きき水、パネル展示、スーパーボールすくい、顔出しパネル、クイズラリー、鉄ぶた探し、展示(給水袋、備蓄水、ダクタイル管模型)、バルーン風船、抽選会、水の実験
※アンケート実施(回答者に「ああ！関露水」を進呈)
- 来場者数：355人(大人177人、中・高生18人、小学生91人、小学生未満69人)

5. アンケート回答数と来場者数の集計結果

年度	回答数	来場者数
平成24年度	127	311
平成25年度	51	129
平成26年度	88	215
平成27年度	108	230
平成28年度	205	561
平成29年度	239	478
平成30年度	256	489
令和元年度	162	262
令和5年度	185	476
令和6年度	129	531
令和7年度	93	355



- ※平成22年度より長府浄水場のみで開催(土曜日・日曜日の2日間)
 ※平成25年度両日雨天により来場者減(土曜日・日曜日の2日間)
 ※平成28年度から市内小中学校へイベントチラシ配布開始(土曜日・日曜日の2日間)
 ※平成30年度、イベント場所浄水場正門から研修センター前に変更(土曜日・日曜日の2日間)
 ※令和元年度 イベント場所浄水場正門へ(土曜日のみ)
 ※令和2年度～令和4年度、新型コロナのため開催中断
 ※令和5年度 イベント場所浄水場正門へ(土曜日のみ)
 ※令和6年度 長府浄水場更新工事のためシーモール1階コンコースにて開催、(土曜日のみ)
 ※令和7年度 給水開始120周年記念のためシーモール2階セントラルコートにて開催(土曜日のみ)

●習字コンクール作品展

- 会場：シーモール2階ピアモール
- 日時：令和7年6月2日(月)～6月9日(月)午前10時から午後7時30分
- 展示内容：入賞作品 書道42点の展示
- 入賞作品：小学生低学年の部 金賞2点、銀賞3点、銅賞4点、佳作5点
小学生高学年の部 金賞2点、銀賞3点、銅賞4点、佳作5点
中学生の部 金賞2点、銀賞3点、銅賞4点、佳作5点
- 応募総数：書道588点

I. 調査概要

1. 調査の目的

市民の上下水道局に対する認知度や評価などを把握し、今後の参考資料とすることを目的とする。

2. 調査対象 水道展来場者

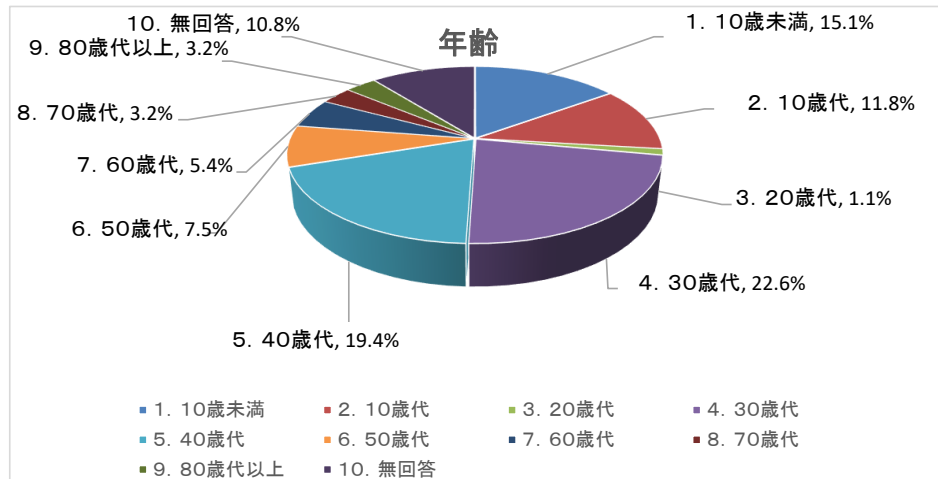
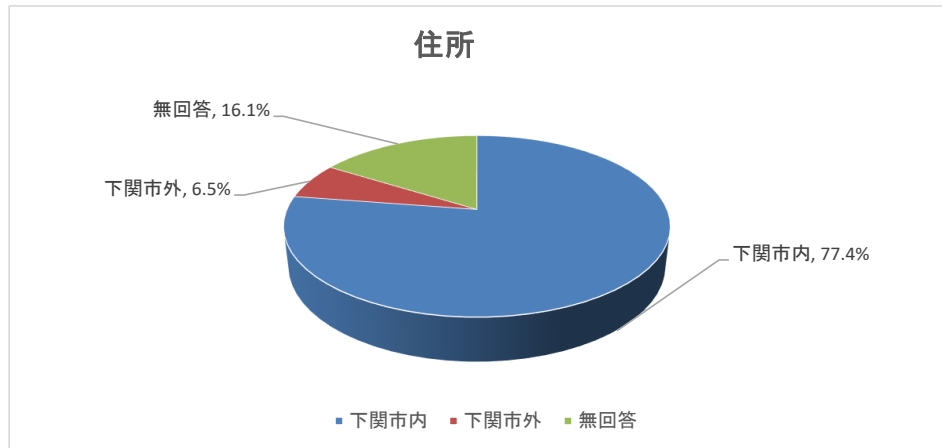
3. 実施期間 令7年6月7日(土)

4. 調査場所及び調査方法

会場でアンケート用紙に記入してもらう。アンケートに答えた方に「ああ！関露水」進呈

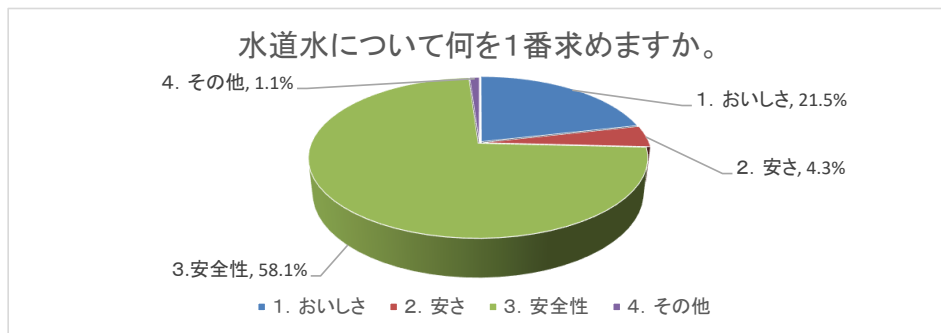
5. 回答者数 93人

6. 回答の内訳



Ⅱ. 調査結果

問1 水道水について何を1番求めますか。

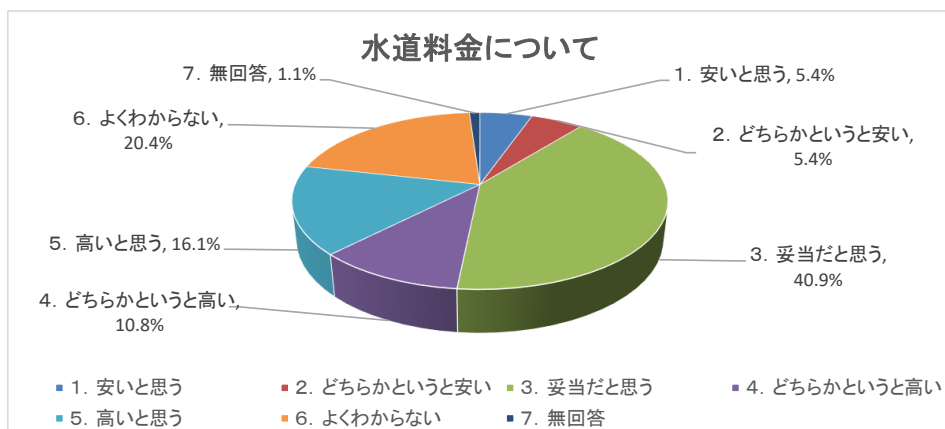


【水道水について】の意見

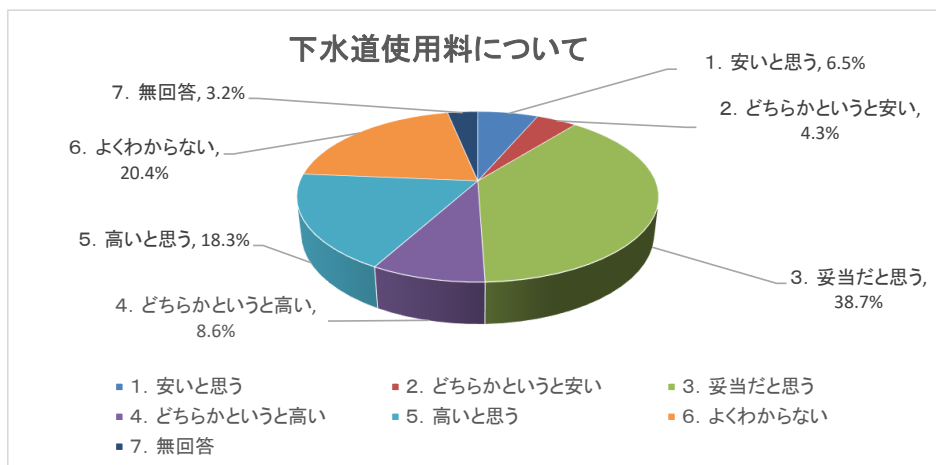
- ・おいしいです(50歳代)
- ・今、安心して飲めます。(70歳代)
- ・つめたい(10歳代)
- ・水道の仕組みについて学ぶことができ、水についていろいろなことを体けんして知ることができてとてもこれからいかしていきたいことだと思いました。(10歳未満)
- ・高い(未回答)
- ・パックの実験は大人も楽しめました。(30歳代)
- ・水道料金を安くしてください。(未回答)

問2 料金についてどう思いますか。

①水道料金について



②下水道使用料について

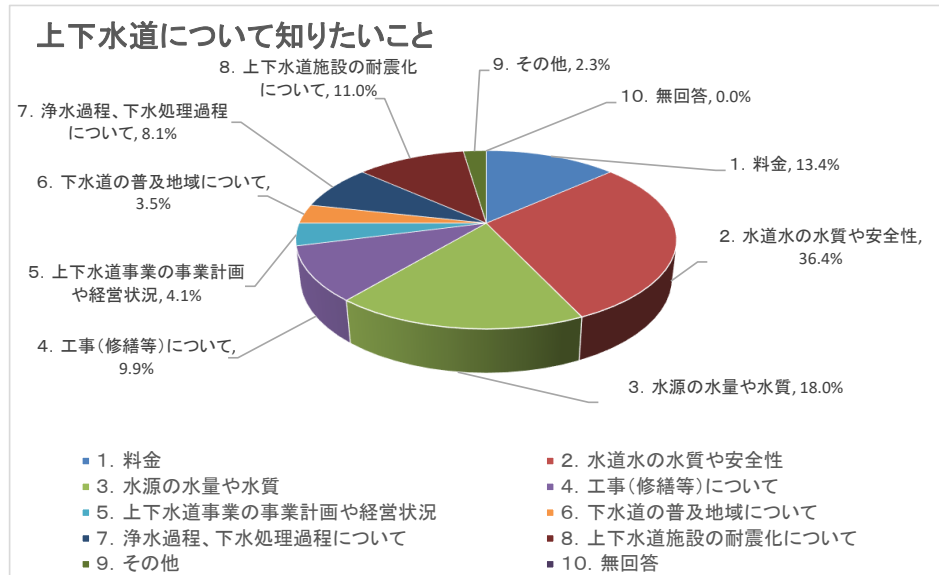


【下関市の水道料金と下水道使用料についてのご意見】

- ・電気、水道、ガスすべてが高いので少しでも安くなればうれしい(40代)

問3 上下水道について、どのようなことが知りたいですか。知りたいことをいくつでもお選びください。

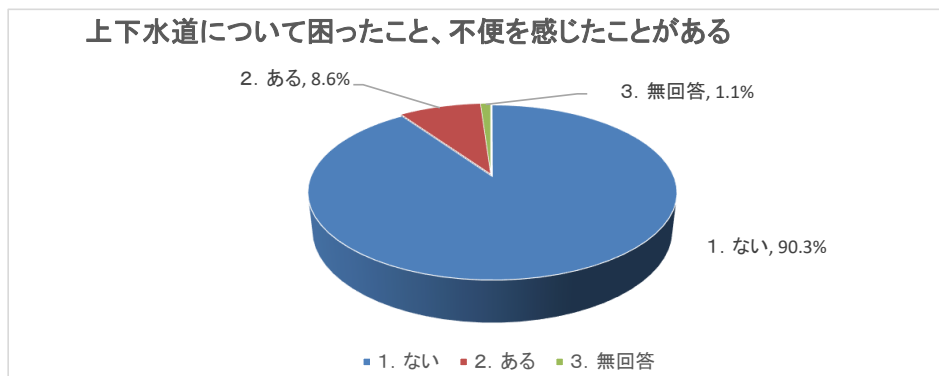
※母数＝回答の合計数(172)



【その他、知りたいこと】

- ・バルトンから指導してもらい今の施設に至っていること(70歳代)
- ・くだがこわれないように(未回答)
- ・汚れの種類(10歳代)
- ・水道管の老朽化(30歳代)

問4 今まで、上下水道について困ったこと、不便を感じたことがありますか。

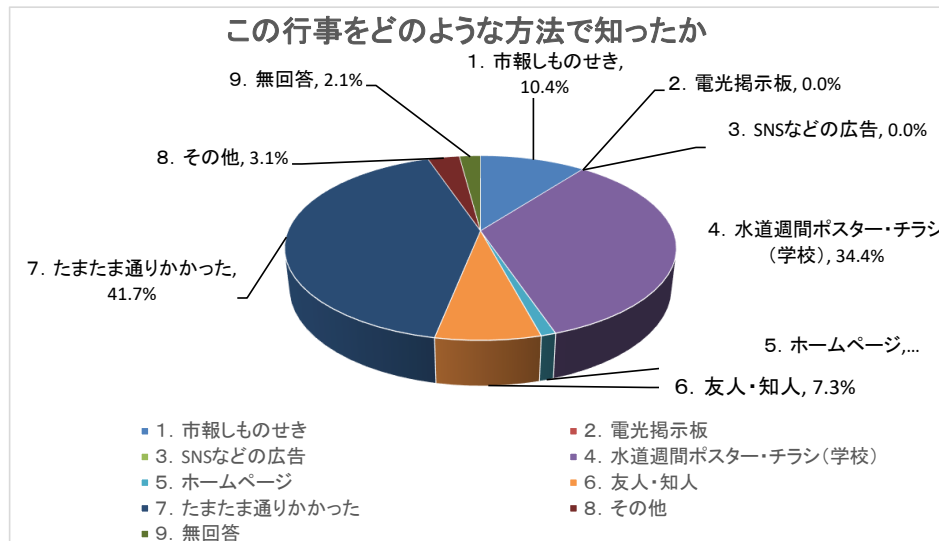


【「ある」と回答した人のご意見】

- ・困っているわけではないが近所の生活排水が川に流れているのでは？と思う場所があり不安。(洗剤の泡が流れているのが分かる。)(40歳代)
- ・水が漏れた。(10歳未満)
- ・水漏れ(60歳代)
- ・中古の家を買った時水漏れが1ヶ月続きました。(70歳代)

問5 この行事をどのような方法で知りましたか。当てはまるものをいくつでもお選びください。

※母数＝回答の合計数

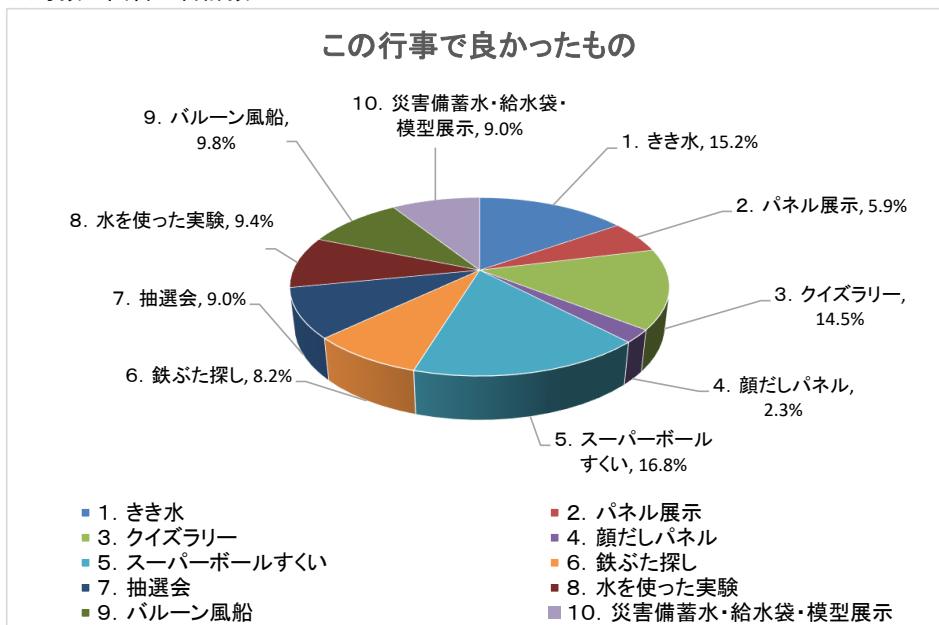


【その他の方法で知った】

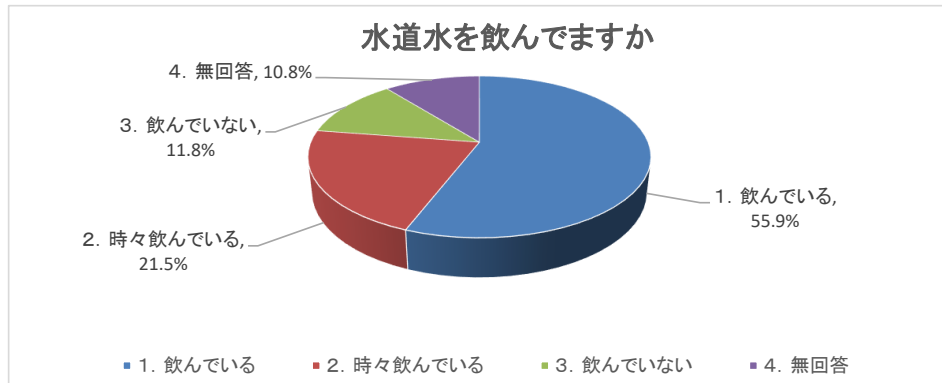
- ・ 習字で知りました(10歳代)
- ・ 出品していた習字を見にきました(40歳代)
- ・ 現場を通して(70歳代)

問6 このイベントで良かったものをお選びください。(いくつでも)

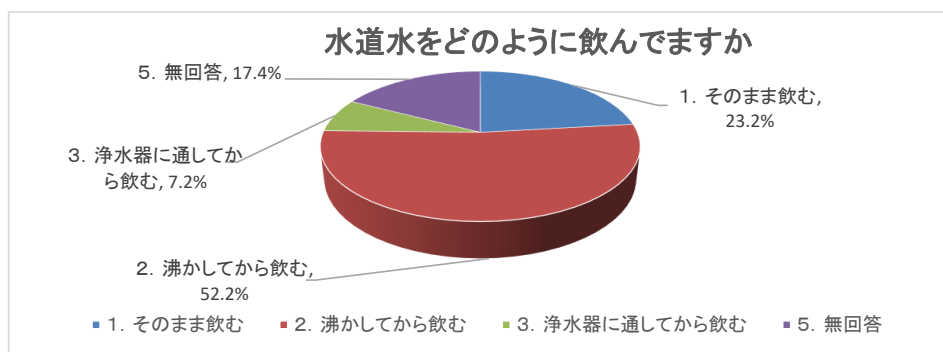
※母数＝回答の合計数



問7 水道水を飲んでいますか。



問8 水道水をどのようにして飲んでいますか。



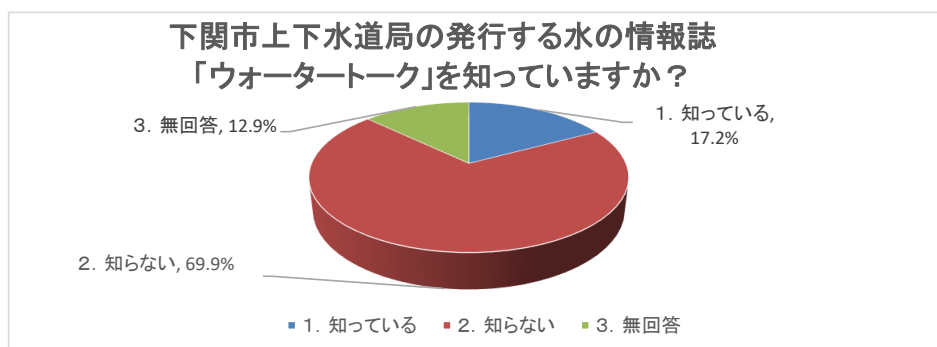
●その他回答

水道水をむぎちゃにする(10歳代)

問9 水道水を飲んでいない理由や上下水道局への要望やご意見などがありましたら、お書きください。

- ・ かるきが気になる(50歳代)
- ・ 一応安全と思っているけど、利用者側でのクリーン対策としてフィルターを通している。
- ・ 習慣(40歳代)
- ・ カルキ臭が気になって水道水は直接のむことはなかったのですが、ひやしてこちらで飲むとおいしかった(30歳代)
- ・ 浄水の水の方が美味しいイメージがあるので…。でも、きき水しても分からなかったです。(30歳代)
- ・ ミネラル水を飲む。(50歳代)

問10 下関市上下水道局の発行する水の情報誌「ウォータートーク」を知っていますか？



●知っている方法: 公民館などの公共施設のチラシ

Ⅱ. 総括

(1) 来場者数推移

今年度で第13回目となる。長府浄水場の更新工事が始まったことから、令和6年度から商業施設で水道事業の周知を目的とする開催が2度目となった。

120周年記念ということもあり、昨年度1階コンコース⇒今年度2階セントラルコートへ広い会場へと移したが、前回(令和6年度)の531人を下回る355人(176人減)となった。昨年度はイベントの開催日と重なっており、他イベントからの偶発的な立ち寄りが来場者数に影響したことが考えられる。また、昨年度より終了時間を2時間早めたことも要因となっている。(昨年度17時以降来場者数:約60人)

(2) 来場者の傾向

アンケート結果からみると、下関市内が77.4%、市外が6.5%、年齢で見ると10歳代や10歳未満が26.9%、30歳代～40歳代が42.0%、また50歳代以上は19.3%を占めていた。商業施設で開催のため買い物に来た方や家族連れが多くなっていると考えられる。

(3) イベント周知方法

イベントの認知としては、「たまたま通りかかった」が41.7%と約半数を占めており、次いで「チラシ」34.4%、「市報」10.4%と紙媒体での周知方法が44.8%を占めていた。商業施設での開催の効果により、水道週間行事を開催していると知らずに来た方にも参加していただくことが出来た。また、市内小学校全児童を対象にチラシを配布しているため、一定の広報効果が得られたと考えられる。一方、SNSなどの電子媒体での広報効果が得られておらず、SNSの認知度を向上させることやフォロワーの獲得が今後の課題であると考えられる。

(4) 水道料金・下水道使用料への理解

水道料金、下水道使用料の料金設定についてアンケート結果をみると、「安い、どちらかという」と「高い、どちらかという」と高いを「不満」グループにすると、【水道料金 納得:51.7%、不満26.9%】、【下水道使用料 納得:49.5%、不満26.9%】と、どちらも辛うじて理解を得られていると考える。

ただし、水道料金・下水道使用料についてよくわからないと回答した方が、前回(令和6年度)と比べほぼ変わらない(【水道料金 R6:20.0%】、【下水道使用料 R6:28.7%】)ため、上下水道事業について理解を得られるよう広報していかなければならないと考えられる。

(5) 上下水道事業への関心

問3「上下水道事業について知りたいこと」に対しては、水道水の水質や安全性についてが36.4%、水源の水量や水質についてが18.0%と高く、水道水に1番に求められている安全性と結び付くと考えられる。また、上下水道施設の耐震化については11.0%ではあるが、例年に比べると高くなっており、近年の管の破損等に関する事故の報道が影響していることが考えられる。

(6) 水道週間行事について

今年度の水道週間行事は、長府浄水場の更新工事のため、2度目の商業施設での開催となった。「イベントで良かったものは何ですか」の問いに対して、「きき水」が15.2%と最も数値が高く、飲み比べることによって水道水の美味しさをPRできたと考えられる。次いで「スーパーボールすくい」16.8%、クイズラリー14.5%の数値が高くなっており、子ども達の興味を引くことは出来たと考えられる。また、今回取り入れた、「備蓄水・給水袋」「水をつかった実験」も約10%ではあるが、30歳代以上からの関心を得ているため、親子で体験できるイベントも取り入れながら、今後も開催目的である「水道事業について理解と関心を深める」ため、内容について引き続き検討していきたい。

また、親子連れで水道週間のイベントを目的に来場された方が一定数いることを踏まえ、保護者の目につく広報手段について検討していきたい。(※きき水はアンケート回答者の約半数、備蓄水・給水袋は約4分の1の人から良かったものとして選択されている。)

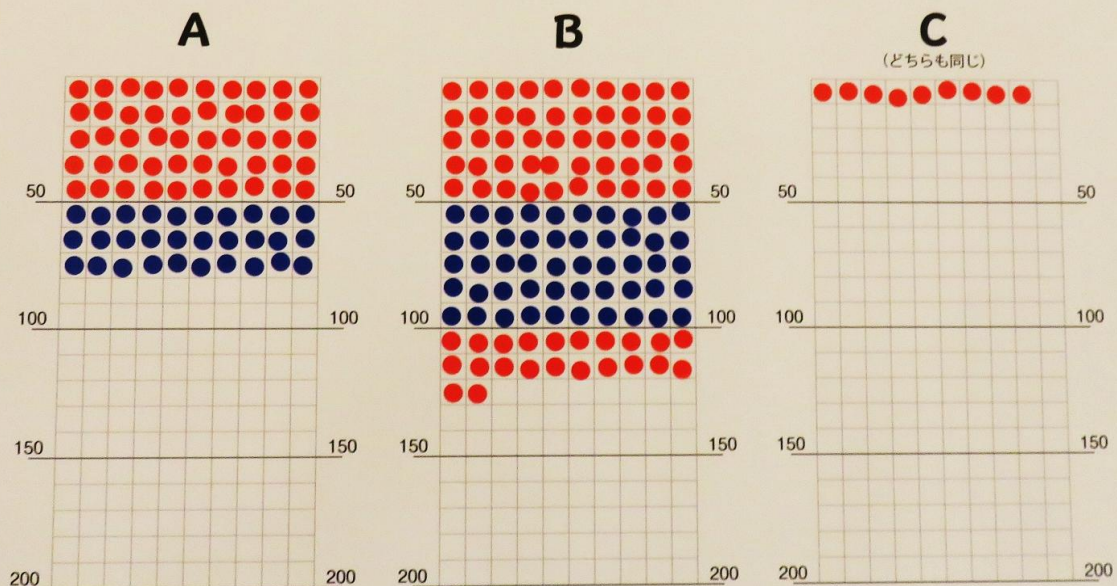
(7) 水道水について

今年度は、きき水についてパネルにシールを貼付する方式を取り入れたことでアンケート参加数の93名に対し、きき水パネルへの参加は200名を超えた。飲みやすさを比べると「ペットボトル水」が57.8%と半数を超える数値であったが、「水道水」、「どちらも同じ」を合わせると42.2%となり、ほぼ同数となった。「カルキ臭が気になる」といった意見もあるが、「おいしい」「安心して飲める」などの意見もあり、安全性への不安など、よくないイメージは先行しているため、においが気になる時の飲み方や水道水の安全性について広報していく必要があると考えられる。



どの水が 飲みやすかったですか？

A～Cの飲みやすかったところに○シールを貼ってね。



※A: 関露水、B: ミネラルウォーター
飲み比べ⇒シール貼付⇒水の種類を参加者に開示